

モロッコ経済日誌 2016年6月

在モロッコ日本大使館経済班

I. 国内経済

1. 指標等

①高等計画委員会(HCP)による経済成長率予測¹

高等計画委員会は2015年の経済成長率を4.5%と発表した(2014年2.6%)。なお、2015年の高成長の原因は農業分野の順調な成長によるもの(前年同期12.8%増)。

②1月から5月までの貿易統計²

為替局の統計によると2016年5月までの5か月間の貿易赤字は674億DHと前年同期より7.7%拡大。輸入合計額は4.3%増の1,633億DHで特に設備財輸入が増加した(前年同期は1,566億DH)。輸出合計額は2%増の959億DH(前年同期940億DH)。リン鉱石及びその関連製品の輸出が減少も、自動車分野、農業・農業加工品、革及び繊維製品、航空分野は好調だった。カバー率(輸出額/輸入額)は58.7%で、2015年の同時期の60%より減少した。

③モロッコ物流ランキング³

28日、世界銀行が発表した「物流と競争2016、グローバル経済の中の貿易及び物流」によると、モロッコの物流における世界ランキングは160か国中86位となった。関税プロセスの効率性、流通履歴の追跡可能性、インフラ及びサービスに関する指標で低得点を得た。

2. 産業

①電気バス工場建設計画⁴

モロッコ・エネルギー投資会社(SIE)は、モロッコ中央人民銀行(BCP)の融資を受け、東風揚子江汽車(Dongfeng Yangtse, 中国, 自動車)、マリタ・グループ(モロッコ)と合弁会社を設立し、電気(EV)バス製造工場を建設する予定。総投資額は約12億DHで、2017年に操業が見込まれており、年間1,000台のEVバスが国内外の市場向けに製造される予定。

②中国企業、モロッコ北部に産業地区を設立予定⁵

¹ オジオルディ・ル・マロッコ紙(6月7日)

² ル・マタン・エコ紙, エコノミスト紙, レ・ゼコー紙(6月20日)

³ ル・マタン・エコ紙, エコノミスト紙(6月29日)

⁴ エコノミスト紙(6月10日)

⁵ エコノミスト紙(6月14日)

12日、中国とモロッコの政府関係者及び海特集団(Haite, 中国)は、モロッコ進出予定の中国企業を対象とした産業及び住宅設立予定地区を訪問した。同地区はモロッコ北部タンジェ市の産業ゾーン付近に位置し、第1フェーズでは海特集団により1,200平米が整備される予定。総投資額は100億ドルで、同地域整備に30万人の雇用創出が見込まれている。

3. エネルギー・電気・水

①Gas to Power Project, 新規プラント建設計画⁶

モロッコ政府は、現在進行中の Gas to Power Project (2,400MW)に加え、2026年から2030年の間に新たに2,400MWのガスタービン複合サイクル(CCGT)の発電プラントを建設する計画を決定した旨発表した。

②Gas to Power Project, 技術顧問の選出⁷

エネルギー・鉱山・水利・環境省は、現在進行中の Gas to Power Project の天然ガス部門の技術顧問を決定する国際競争入札にて、応札した8候補から、フランスのソフレガス社及びデンマークのランボール社からなるコンソーシアムが落札したと発表した。

③ナレバ社, エンジー社アフリカにおける開発協力覚書⁸

24日、SNI(モロッコ王室系投資会社)傘下のナレバ・ホールディングス社及びエンジー社(仏、旧GDFスエズ社)は、エジプト、コート・ジボワール、セネガル、ガーナ及びカメルーン等の北・西アフリカにて、再生可能エネルギー案件の開発・協力にかかる覚書に調印した。

④エル・メンゼル水力発電, 揚水発電に変更⁹

ONEE(モロッコ電力・水力公社)は、以前より国際競争入札を実施していたエル・メンゼル水力発電計画(125MW)を中止し、揚水発電案件に変更する旨発表した。

4. その他

①中国銀行業監督管理委員会と中央銀行の覚書¹⁰

10日、ラバトにて、ジョアフリ中央銀行総裁及び、中国銀行業監督管理委員会(規制当局, China Banking Regulatory Commission, CBRC)の王副首席は、コントロール・バンキング, 危機管理, 銀行規制等の情報交換に関する協力に合意するMOUに署名した。

⁶ ルマタン・エコ紙(6月7日)

⁷ ルマタン・エコ紙等(6月28日)

⁸ ルマタン・エコ紙(6月27日)

⁹ エコノミスト紙(6月17日)

¹⁰ レ・ゼコー紙, オジオルディ・ル・マロック紙(6月13日)

②大型紙ロールのアンチ・ダンピング税の賦課¹¹

産業・貿易・投資・デジタル経済省は、大型紙ロールのモロッコへの輸入に関し、メッド・ペーパー社(モロッコ、製紙)の訴えにより2015年6月より実施されていたアンチ・ダンピング調査の結果、輸入グラフィック紙の巻取り・平判に対し、4年間のアンチ・ダンピング税を賦課することを決定した。課税率は段階的に下げる予定で、2016年6月から12月は25%、2017年は22.5%、2018年は20%、2019年は17.5%、2020年1月から6月は15%と設定した。

③モロッコ港湾局、5億DHの債権発行予定¹²

モロッコ港湾局(ANP)は14日、モロッコ証券市場にて、5億ディルハムの債券を発行予定と発表。今回の債券発行により、同局は2016年から2020年に実施予定の投資計画(83億DH)の費用を調達する。

④ヴィシー社、ムーライ・ヤコブに温泉リゾート設立計画¹³

1日、フェズ市にて、ヴィシー社のヴィシー・テルマリア・スパ社とムーライ・ヤコブのコテルミー社は、温泉リゾート・宿泊施設開発及び運営の契約に署名した。2017年3月より同施設の建設が開始され、12月に運営開始予定。総投資額は1.63億DHで、93部屋設置予定。

⑤観光分野の成長¹⁴

21日、ハッドド環境大臣は、2012年から2015年における観光分野の成長率を発表。同大臣によると、2013年にモロッコを訪問する観光客は1,000万人を超え、2015年には1,090億DHの売上を計上した。観光業はモロッコ国内雇用率5%を占めており、主要産業の1つである。なお、2016年は成長率、外貨獲得率、新規雇用率がそれぞれ2%ずつ上昇すると見込まれている。

II. 諸外国等との関係

1. 経済協力

①インド商工会議所が新設¹⁵

5月31日、ラバトにて、ベンキラン首相及びインドのアンサリ副大統領の臨席のもと、モロッコ・インド商工会議所の新設式が行われた。同会議所の設置により両国間のビジネス拡張が期待されている。

②アフリカ開発銀行、融資¹⁶

¹¹ ル・マタン・エコ紙, エコノミスト紙(6月9日)

¹² ル・マロッコ紙(6月10日)

¹³ エコノミスト紙(6月1日)

¹⁴ エコノミスト紙, ルマタン・エコ紙(6月23日)

¹⁵ ルマタン・エコ紙, エコノミスト紙他(6月1日)

22日、アビジャンにて、アフリカ開発銀行(AfDB)は、モロッコの社会保証を中心とする社会部門のガバナンス向上のために1億3,465億米ドルを融資することを承認したと発表した。

¹⁶ ルマタン・エコ紙, エコノミスト紙他(6月24日)